

私たちはみな、クリスチャンとして語るべき個人的な物語、イエスがどのように私たちの人生を変え、私たちのためにどのようなことをしてくださったのかという物語を持っています。

問1 エフェソ2：1～10を読んでください。キリストを知る前、私たちはどのような状態でしたか。キリストを受け入れてから、私たちの状態はどうですか。

①キリストを知る前（エフェ2：1～3）

②キリストを知ったあと（エフェ2：4～10）

なんと驚くべき変化でしょう！ キリストを知る前、私たちは「罪過と罪とによって死んでいた者であって」（エフェ2：1、口語訳）、「この世のならわしに従……って、歩いていたのであ（り）」（同2：2）、「肉とその思いとの欲するままを行ひ」（同2：3）、「生れながらの怒りの子であった」（同）のです。要約すれば、キリストを知る前、私たちは迷子の状態で、目的もなく人生をさまよっていました。

私たちは、幸福そうに思えることを経験したことがあるかもしれません、人生には魂の不安と果たされない目的がありました。キリストのもとへ行き、キリストの愛を体験したことで、状況が一変しました。今や、私たちはキリストにおいて真に生きています。「豊かな」「あわれみ」（エフェ2：4、新改訳）と「大きな愛」（同）によって、私たちは救いという賜物を受け取りました。神は私たちを、「キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。こうして、神は、キリスト・イエスにおいてわたしたちにお示しになった慈しみにより、その限りなく豊かな恵みを、来るべき世に現そうとされたのです」（同2：6、7、新共同訳）。キリストによって、人生は新しい意味と目的を持ったのです。ヨハネが、「この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった」（ヨハ1：4、新改訳）とはっきり言ったとおりです。

問2 エフェソ2：10を読んでください。この聖句は、クリスチャンの信仰にとつていかに善い業<sup>おとが</sup>が重要であるかということについて、何を教えていますか。救いは「律法の行いによるのではなく」（ロマ3：28）信仰によるということとの関連において、私たちは先の考えをどう理解したらよいのでしょうか。